

論文の要旨 (Summary) を英語で書く

探究・図書部

1. Summary とは？

論文全体を、簡潔かつ端的に要約したもの。ここを読めば論文全体に何が書いてあるのかがわかる短文。その点で「導入(Introduction)」とは区別される。

2. Summary に書く内容

研究の背景(動機)・目的 ⇒ 研究の方法 ⇒ 結果・結論 この流れで数行にまとめる

3. まず日本語で書く

①内容を吟味・・・上の2の内容がバランス良く配置され、一読して研究の概要がわかるか？

②英訳することを意識して日本語を組み立てる・・・主語、述語が整った文になっているか？

4. そして英訳

①自信の持てる英語で…自信のない英語は間違っている率が高い

②和文和訳も必要…日本語の通り訳してもうまくいかないことが多い ⇒ 英訳しやすいように言い換え

③文の骨格となる構造から考える…何を SV とし、どんな構文で書くか ⇒ 修飾語句など細部は後から

④翻訳アプリを過信しない…単語を直訳するだけのおかしな英語になることがある

⑤和英辞書を引いたら英和辞書で用例を確認

例：「仮説を立てる」を英語にする

「仮説」を和英辞書で調べると「hypothesis」と出てくるが、これだけでは「立てる」の部分がわからない ⇒ 英和辞書を引くと「build up (set up) a hypothesis that ~」などの用例が出てくる

⑥その他

「課題研究メソッド」P.129 から様々なアドバイスが書かれているので参考にすればよいが、「人称を主語にしない」「受動態・無生物主語を使う」などはかなり高度なので、できる範囲で考えるとよい

実例**急須で取ろう！ビタミンC (1)Let's take it in a teapot! Vitamin C****要旨**

お茶にはカテキン、ビタミンCなど健康によい影響をもたらす物質が多く含まれている。「煎茶にはビタミンCが多く含まれている」という仮説を立て、2種類の実験を通して、紅茶、玄米茶、煎茶の4種類のお茶のビタミンCの含有量を調べ比較した。また、ビタミンCの健康への影響を、私たちの健康保持増進を目的として調べ、考察した。

SUMMARY

Tea contains many substances such as catechin and vitamin C (2), which are believed to have a good influence on people's health. We (3)assumed that green tea of medium quality includes more (4)vitamin C. We compared the amount of vitamin C in four types of tea: tea with roasted rice, roasted green tea and green tea of medium quality. We also researched and considered the effects of vitamin for the purpose of maintaining and promoting our health.

(1) タイトルは Let's Take It in a Teapot! Vitamin C と、前置詞と冠詞以外は大文字表記するのが普通

(2) 非限定用法の関係代名詞でつないでいるが、自信がなければ …vitamin C. They are …と、分けて書いててもよい。

(3) 「仮説を立てる」の部分に *set up a hypothesis that* を使わず、近い意味の *assume that* を使っている。ニュアンス的には今一つの感もあるが、難しい語句を自信の持てる英語に言い換えた例。

(4) 日本語は「…仮説を立て、2種類の実験を…」と、文をつないでいるが、英語では一度ピリオドで切って文を分けている。書きやすくなるだけでなく、簡潔で分かりやすくなる。

*全体的には…

- ・「研究の方法」の部分に重点が置かれ、「結果・結論」が書かれていない
- ・お茶の種類のところで日本語と英語の不一致が見られるが、何か意図あってのことか？

◆ 【目的】なぜ使うの？

研究要約を英訳するときに、自分の英語を自然に整える・意味を誤らずに伝えるために使います。

1. QuillBot（キルボット）とは？

自分の書いた英語を「自然で読みやすい表現」に書き換えてくれるツール→ 英語ネイティブのような表現に近づけられる！

◆ 基本の使い方

1. <https://quillbot.com> にアクセス。「@mie-c.ed.jp」Goolge アカウントでログイン。
2. 「Paraphrasing Tool」において、自分で作成した英文を左側に貼り付け
3. 「Paraphrase（言い換え）」ボタンを押す
4. 右側に「書き換えられた英文」が表示
5. 必要に応じて「Standard（標準）」「Fluency（流暢）」「Formal（フォーマル）」などモードを変更

◆ 活用のポイント

- 「Fluency」モードがオススメ：自然で流れるような表現に
- 元の意味が変わっていないか必ず確認！
- 論文要約には「Formal」モードも有効

2. DeepL（ディープエル）とは？

高精度な「翻訳」と「英語表現の参考」ができるツール→ 意味を崩さず、正確で丁寧な翻訳ができる！

◆ 基本の使い方

1. <https://www.deepl.com> にアクセス
2. 左側に日本語または英語を入力
3. 右側に翻訳された結果が表示
4. 青字の単語をクリックすると別の言い回し候補が出てくる

◆ 活用のポイント

- 日本語で要約を書いたあと、「参考訳」として英語にしてみるのもOK
- ただし、そのままでは英語として不自然なこともある→QuillBotと併用
- 学術的にふさわしい語彙・文体になっているか意識

◆併用例（ワークフロー）

1. 日本語で要約を書く
2. 自分で英語に訳す
3. DeepLでチェック or 下訳
4. QuillBotで表現を整える
5. 最終的に自分の目で確認＆微調整！

● 注意点とコツ

項目	内容
！精度	どちらも100%正しいとは限らない。最終確認は必須！
▣繰り返し活用	「1回で完璧」を目指さず、改善を重ねることが重要
✿考える力	ツール任せではなく、自分の言いたいことを整理してから使う
✿表現力	英語の表現を学ぶ機会として活用（パターンに気づく）

✿さらに深めたい人へ

- Google翻訳も比較しながら違いを考察すると◎
- Grammarly（文法チェック）やChatGPT（文脈アドバイス）も応用可能